

# 保育園の自己評価シート

a…十分わかる/十分できている

b…おおむねわかる/おおむねできている

c…あまりわからない/やや不十分

d…ほとんどわからない/改善を要する

		評価基準	a	b	c	d
保育理念・目標について		子どもの人権・人格を尊重し、子どもの意思、自立への援助が来ている。	11%	89%	0%	0%
		子ども達一人一人を大切に保育している。	44%	56%	0%	0%
		保育理念・目標は全員で検討し、かつ共通理解を図っている。	0%	89%	11%	0%
		理念・目標は子どもを尊重したものになっている。	56%	44%	0%	0%
		温かく見守り、子どもが自分の思いなどを保育者に伝える大切さを職員が共通理解している。	44%	56%	0%	0%
		現在を最も良く生き、将来望ましい未来を作り出せる力を養えるように適切な援助をしている。	33%	67%	0%	0%
発達援助		温度・湿度・採光・音が常に適切に保たれている。	44%	56%	0%	0%
		指導計画は子どもが興味・関心をもって好きなあそびを十分楽しめるようになっている。	11%	78%	11%	0%
		子どもが健康に生活する場になっている。	78%	22%	0%	0%
		指導計画は定期的に評価・見直しを会議等で行い、共有している。	56%	33%	11%	0%
		異年齢交流の計画を作成し実施している。	13%	75%	13%	0%
		子どもが好きなあそびを十分楽しめるよう柔軟性のある計画になっている。	22%	56%	22%	0%
		子どもの生活の連続性を踏まえ、保護者との連携、情報共有が行われている。	56%	44%	0%	0%
		子どもが愛されている、自分は大切な存在だと感じられる保育活動を行っている。	44%	44%	11%	0%
		子どもが遊具や用具、素材など自分で取り出して遊べるようになっている。	33%	56%	11%	0%
		経過記録を活用し、進級児の申し送りを担任間で行っている。	78%	22%	0%	0%
環境		子どもの年齢発達にふさわしい環境構成にしている。	33%	56%	11%	0%
		環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫し、清潔、安全が保たれている。	22%	78%	0%	0%
		子どもが自分から思わず関わりたくなるような魅力ある環境構成をしている。	0%	78%	22%	0%
		必要に応じてプライバシーが守られる空間を確保できるよう工夫している。	22%	56%	22%	0%
		季節の移り変わりが感じられるような環境を構成している。	33%	67%	0%	0%
		子どもが人とのやり取りを育む環境を構成している。	25%	75%	0%	0%
		長時間における保育の環境を整備し、保育の内容や方法を職員で共有している。	22%	67%	11%	0%
養護と教育		小学校への移行が円滑に行われるよう、交流したり要録の送付等を行っている。	67%	33%	0%	0%
		職員が養護と教育を理解し実践している。	22%	78%	0%	0%
		統合保育の意味や有益性を理解し共有している。	11%	89%	0%	0%
		配慮を要する子どもや障害のある子どもの対応やケアについて職員が情報を共有している。	25%	63%	13%	0%
		保護者と必要に応じて情報の共有をしている。	89%	11%	0%	0%

# 保育園の自己評価シート

	評価基準	a	b	c	d
健康・安全について	内科健診、歯科検診、身体測定等を定期的に行い、配慮が必要な結果であれば、医師の指示に従っている。	100%	0%	0%	0%
	全職員に対してSIDSに関する知識が周知され、取組が適切に行われている。	44%	56%	0%	0%
	配慮を要する子どもの食事の提供方法や誤飲防止等について、マニュアル等を作成し、職員間で共有している。また医師の指示のもとで除去食を提供している。	78%	11%	11%	0%
	食の大切さを知り、食事を楽しめるよう工夫したり働きかけている。	44%	56%	0%	0%
	避難訓練等安全に関する訓練が定期的に行われ、適切な対応が職員に身についている。	67%	33%	0%	0%
保護者支援	保護者に寄り添い、保護者が自己決定を出来るように子育ての相談に応じたり、個人面談の機会を設けるなど、積極的に保護者に対する支援を行っている。	78%	22%	0%	0%
	保護者と日常的なコミュニケーションを図り、信頼関係を築く大切さを職員間で共有している。	78%	22%	0%	0%
	児童虐待を発見した場合の対応について、マニュアルがあり職員間で確認している。	33%	67%	0%	0%
	家庭支援の必要な保護者を援助し、虐待を予防する体制になっている。	44%	44%	11%	0%
地域支援	地域のニーズ(子育て支援)に応じて、施設の専門性を生かしたサービスを提供している。	56%	33%	11%	0%
	職員が子育て支援の重要性を認識し、保護者が安心して気持ちよく利用できるよう共通認識している。	11%	78%	11%	0%
	地域と協力して行事を行う等、地域の団体や機関と連携している。	78%	11%	11%	0%
	ホームページ、パンフレット等の資料を、公共の場におくなど情報の公開をしている。	44%	56%	0%	0%
職員の資質向上	保育士は自らの保育実践を振り返り、評価し、専門性の向上や改善に努めている。	89%	11%	0%	0%
	年間を通して自己評価する機会を設けている。	78%	22%	0%	0%
	自己評価を活かしてキャリアアップを図るよう育成している。	22%	78%	0%	0%
	研修の成果を日常の保育に生かし、園児の育ちに反映させている。	22%	67%	11%	0%
	評価の結果を課題として明確にし、改善につなげている。	22%	78%	0%	0%
	各職員に期待される役割、目標、人材育成の方法が明確化され、計画的に行っている。	33%	67%	0%	0%
	非常勤職員に関しても資質向上に向け、研修の機会を設けている。	78%	22%	0%	0%
運営・管理・社会的責任	苦情を職員間で共有し、保育の改善に生かしている。	56%	44%	0%	0%
	苦情解決の仕組みを保護者に説明している。	89%	11%	0%	0%
	守秘義務の意義や目的を全職員に周知している。	56%	44%	0%	0%
	地域にある保育園として社会的責任を果たし専門性の向上に努めている。	56%	33%	11%	0%
	各種会議を適切且つ効率的に進めている。	44%	56%	0%	0%
	職務内容が明確で協働できる体制になっている。	36%	64%	0%	0%
	職員を適材、適所に配置している。	67%	33%	0%	0%
	各種会計を適正かつ適切に処理している。	56%	44%	0%	0%